

# 平成30年度 北九州観光コンベンション協会 事業計画

## 【事業運営の理念・方針】

当協会の役割は、西日本屈指のMICE開催拠点＝小倉駅新幹線口 国際コンベンションゾーン＝を一体的に運営し、積極的にMICEを推進するとともに、国内外の観光客誘致・滞在化を促進し、産業振興・国際化ならびに観光振興の推進・にぎわいづくりで北九州市の新成長戦略などの政策を支援し、にぎわいと活力あふれるまちづくりに貢献していくことである。この役割を果たすため、次の基本理念に基づき、引き続き事業を推進していく。

### 4つの基本理念

#### MICE開催の質を高め、産業振興・国際化を推進する。

- ・公益財団法人としての組織力・信用力の活用
- ・MICE研究の深化による専門性とMICE開催誘致の競争力向上
- ・環境変化に対応した主催事業のリニューアルと新規開発研究・企画
- ・地域に必要な高品質なコンテンツの提供と情報発信力向上

#### MICE開催の多様性を高め、にぎわい・活力づくりを展開する。

- ・MICE開催によるビジターズインダストリーの積極的な推進
- ・主催事業のイベント分野への新規参入、イベント営業強化
- ・有効な広報宣伝の実施
- ・他団体、他施設との連携によるエリアマネジメント
- ・観光事業との連携

#### 施設の付加価値を高め、利用者のニーズに合致した利用環境・サービスを提供する。

- ・小倉駅新幹線口コンベンション施設と西日本総合展示場3施設一体運用
- ・利用者視点からのきめ細かなサービスの提供と向上
- ・ユニバーサルデザイン等による施設・設備機能の改善
- ・ハード、ソフト両面でおもてなしの心の反映

#### 情報発信・受入態勢の質を高め、国内外の観光客誘致・滞在化を促進する。

- ・「国際観光推進協議会」事業によるインバウンド誘致の強化
- ・北九州市の魅力向上、情報発信力の向上を図り、国内外からの観光客増に向けた仕組みづくりと活動
- ・観光客の受入態勢の強化とおもてなしの向上
- ・地域資源の活用、新たな観光資源の掘り起こしによるにぎわいの創出
- ・MICE事業との連携

## 【平成30年度の主な事業目標（指定管理計画（H26～30年度）の30年度目標）】

■ 来場者数（展示場本館・新館、会議場の3施設合計） ⇒ 77万人以上

■ コンベンション誘致件数（九州規模以上） ⇒ 195件以上

## 【目標達成に向けた平成30年度の事業活動】

### 取組1. 協会主催事業の強化（見本市・展示会事業）

〈177,734千円〉

北九州市の新成長戦略や地方創生総合戦略等、国・県の産業政策の動向を踏まえながら、  
 (1) 産業・貿易振興型の既存事業の充実  
 (2) インキュベーション型事業の開発、人材育成  
 (3) にぎわい創出型事業の開発・推進  
 を柱に、協会の主催事業の強化に取り組む。

### (1) 産業・貿易振興型の既存事業の充実

平成30年度は「エコテクノ2018」など8事業を開催し、九州経済の動向や北九州市の産業施策に重点を置き、ビジネスマッチングの機会や先端情報の提供を通じて、地域の産業・貿易の振興に努める。

「西日本製造イノベーション」や「エコテクノ」においては、新素材や今後注目が予想される技術分野を紹介し、地域産業の事業参入や技術導入を促進する。

#### 《平成30年度開催の事業》

事業名	開催期日	入場目標	出展目標
西日本製造技術イノベーション2018	6月13日	15,000人	60社・団体
第44回ふくおか産業技術振興展	～15日		30社・団体
第40回西日本陶磁器フェスタ	9月20日	50,000人	200社
エコテクノ2018 ～地球環境ソリューション展～	10月10日 ～12日	30,000人	110社・団体
エコテクノ2018 ～エネルギー先端技術展～			100社・団体
エコ・ベンチャー・メッセ2018			25社・団体
中小企業テクノフェア in 九州2018			65社・団体
P.P.C.2018 第20回西日本国際福祉機器展	11月15日	20,000人	140社・団体
合計	8事業	115,000人	730社・団体

《企画内容の充実》

■ 『西日本陶磁器フェスタ』40周年企画の実施

平成30年度に40周年を迎える全国で最古参の陶磁器展示会。40周年記念として、これからの伝統工芸を支える若手工芸作家の紹介や、買い替え需要を掘り起こす陶器供養を企画、また、恒例の「ロールケーキフェスタ」の開催や各種陶芸体験コーナーの併設など、幅広い層の来場を促進し、地域のにぎわいづくりを目指す。

■ 『エコテクノ』の強化

主催団体の連携を強化し、DM・Webの活用など効果的な営業活動に取り組む。農業、バイオマス等の分野へのアプローチの継続に加え、CO<sub>2</sub>削減や電気自動車など新たなテーマに取り組むほか、ビジネスマッチングを充実し、成果の上がる展示会として魅力向上に努める。

《ビジネスマッチングの開催》

■ 主催事業における商談等の促進

西日本製造技術イノベーション、中小企業テクノフェア等において、高い技術的知見を有するコーディネーターによるビジネスマッチングへのサポートを実施する。

《国際ビジネスの推進》

■ 韓国釜山広域市BEXCOとの連携

平成27年度に締結したMOUに基づき、相互出展の拡大と海外展示会への出展、展示会の開催調査、新規事業の開発に取り組む。

■ 中国上海CHC（展示会主催団体）との連携

上海の国際展示場で環境展等を開催している上海CHCと協力体制を築き、相互の展示会のPRや集客、共同出展などにより北九州企業のビジネスチャンスを作るための足掛かりを築く。

**(2) インキュベーション型事業の開発、人材育成**

新たな産業・ビジネスモデルの創造を支援するため、北九州市と協力して新規展示会（6次産業分野・デジタルものづくり関連など）の開発を行う。

■ 『地域ニーズを捉えた新規企画』の開催

国の地方創生総合戦略や地震・水害等の復興支援事業など、地域のニーズにあわせ新規企画を実施し、主催事業との相乗効果を図る。

■ 人材育成・業務効率の向上

各種展示会の事情に精通したコンサルタント等にアドバイスを受けるアドバイザー制度の導入や、展示会主催者や展示場関係者との意見交換・勉強会の開催による人材育成、業務効率の向上などを実施し、展示会開催に向けた体制整備を行う。

**(3) にぎわい創出型事業の開発・推進**

夏休み・冬休みを中心に、市外・県外からの集客も見込める、メディア等とタイアップしたファミリー・イベントを開催。また、ミクニワールドスタジアム北九州と連携したイベントの検討などに着手する。

《夏休み等のにぎわいづくり事業》

平成30年度は、ゴールデンウィーク『BRICKLIVE in JAPAN 2018』、夏休み『プラレール博 in KITAKYUSHU』、『メガ恐竜展2018』等の開催を企画。

**取組2. コンベンション誘致の強化（会議・大会等）**

**〈89,953千円〉**

日本政府観光局（JNTO）が発表した「2016年国際会議開催件数」で北九州市は初めて10位に入った。厳しい誘致競争の中、国際・全国規模の学会・大会などを数多く誘致し、平成30年度の目標（年間195件以上）を達成するため、

- (1) グローバルMICE強化都市選定による国際会議誘致の強化
- (2) 誘致マーケティングについての取組み
- (3) 誘致セールスについての取組み
- (4) 開催支援への取組み

などを柱に、積極的にコンベンション誘致に取り組む。

**(1) グローバルMICE都市としての国際会議誘致の強化**

国際会議協会（ICCA）への加入により、北九州開催に適した会議の情報収集が可能となり、的を絞った営業活動を行うとともに、国内外のネットワークを構築する。また、「北九州市グローバルMICE推進協議会」設立による地元ステークホルダーとの連携促進体制の強化や、海外見本市・商談会への参加、英語版ホームページ等海外向けPRツールの充実などにより、国際会議誘致の強化を図る。

**(2) 誘致マーケティングについての取組み**

4大学（九州工業大学、九州歯科大学、北九州市立大学、産業医科大学）、北九州市、北九州商工会議所との連携協定を活用した誘致活動を行うほか、JNTOからの情報収集、国際MICEエキスポ（IME）への参加などによるマーケティング活動に取り組む。

**(3) 誘致セールスについての取組み**

国際ネットワークのさらなる構築、首都圏への積極的な営業、西日本総合展示場・北九州国際会議場の効率的な利用の促進、主催事業にマッチした誘致営業、MICE開催助成金を活用した営業、インセンティブツアーやスポーツ関係の誘致等に取り組む。

#### (4) 開催支援への取組み

会議支援制度の拡充、新たなユニークメニューの開発、産業観光などのエクスカージョンの活用、観光事業との連携等を行い、北九州市のPRを図る。

また、増加する国際会議に対応するため他ボランティア団体との連携、コンベンションボランティア制度などきめ細かな誘致支援活動を行う。

#### 取組3. 貸館利用者の誘致・営業の強化

〈14,032千円〉

貸館利用者を拡大し、施設稼働率の向上、利用者の増加を図っていくため、

- (1) リピーターの定着化及び復活
- (2) 新規利用者の開拓
- (3) 「にぎわいイベント」への取組
- (4) ゴールデンウィークにおける「にぎわいイベント」の創出を柱に、誘致営業に取り組む。

#### (1) リピーターの定着化及び復活

当協会の展示場施設の収益の安定を図るために、重要なリピーターの施設利用の定着化や復活開催を推進させる。また、特にリピーター率が高い「自動車ディーラー」や「家電メーカー」、「ハウスメーカー」等に対し引き続き営業フォローに努める。

#### (2) 新規利用者の開拓

新たな利用形態を開拓するため、地元の経済波及効果を高め、施設の知名度の向上につながるコンサートのほか、平日利用の大手コンビニ展示会や、日程が安定している資格検定試験などを中心に営業活動を行い、定着化を図る。



#### (3) 「にぎわいイベント」への取組み

主に夏休みや冬休みの対策として、ファミリー向けの「にぎわいイベント」の誘致に取り組む。平成29年度の実績では、夏休みに2年ぶり3回目の開催となった「トミカ博 in KITAKYUSHU」が過去最高の入場者数を記録した。平成30年度は、「プラレール博 in KITAKYUSHU」、九州初開催の「メガ恐竜展2018」の開催を予定している。

継続的に「にぎわいイベント」を開催していくために、会場利用等の条件の整備、コンテンツの選定を十分に見極め、ファミリーに喜んで来場してもらえる「にぎわいイベント」を構築していく。

#### (4) ゴールデンウィークにおける「にぎわいイベント」の創出

ゴールデンウィークにおける効果的な自主事業の新規開催を検討するため、平成30年度はこれまでの自主事業を休止し、ファミリー向けの「にぎわいイベント」として、レゴファンイベントの「BRICKLIVE in JAPAN 2018」を開催する。

#### 取組4. 広報・宣伝、地域連携

〈8,394千円〉

#### (1) 広報・宣伝

協会ホームページに加え、情報誌「催事案内」の発行、JR小倉駅のマルチビジョンによるPR、新聞広告、JR主要駅やモノレール各駅へのポスター掲示などによる広報活動を実施する。

#### (2) 地域連携（小倉駅新幹線口振興連絡会などとの連携）

小倉駅新幹線口のにぎわいづくりと魅力アップに貢献していくため、「あるあるCity」などと連携したイベントの開催の検討、小倉駅新幹線口地区振興連絡会の活動に積極的に取り組む。

#### 取組5. お客様満足度の向上（管理・運営）

〈665,565千円〉

#### (1) サービスの向上

利用者アンケートや利用実態等を参考に貸出備品等の充実を図る。展示場については、試験会場としての利用が増加しており、長机のリニューアルや照明器具のLED化の検討など顧客ニーズに沿った環境づくりに努める。また、ミクニワールドスタジアム北九州との連携を図る上で、当施設でできるハード・ソフト面でのサービスメニュー等、来場者への満足度向上に繋がるような利用方法を検討する。

#### (2) 職員の資質・能力の向上

多様化するニーズに適応できる人材育成促進のため、企画力やコミュニケーション能力を高めるための研修等を積極的に導入する。引き続き個人情報保護や情報公開などコンプライアンスの遵守等も意識しながら、職員資質、能力開発を図ることにより、全般的なサービスの質の向上を目指す。

#### (3) 施設・設備の改修等

展示場・会議場を、いつも安全・快適に利用していただけるよう、老朽化している施設・設備・備品などの予防保守や改修・改善に適宜取り組む。

#### (4) 展示場本館の対応等

築40年を経過し、経年劣化による設備等の改修に注意し、効率的、効果的な修繕計画を検討する。また、耐震改修工事については、定期利用者等との今後の利用日程の調整を慎重に行いながら工期の設定に向けた準備を進める。

**取組 6. 観光客の誘致及び滞在化促進****〈16,121千円〉****(1) 観光客誘致事業・滞在化促進事業**

北九州市への観光客が増加している東アジアを中心とした旅行社へのセールスを強化するとともに、国内向けの観光キャンペーンを実施し、北九州市への誘客や滞在化促進を図る。

また、各都市で開催される祭り・イベント等への出展やPR活動を行い、北九州市の祭り・イベントへの参加を促すことで、都市間交流による観光客誘致につなげていく。

**(2) 修学旅行誘致事業**

北九州市及び民間事業者で修学旅行誘致ワーキンググループを組織し、修学旅行の行程等の実施状況等の調査や旅行社教育旅行担当者へのセールスを実施する。

また、修学旅行の受け入れ体制を充実させるため、修学旅行ガイドの養成や新たな修学旅行受け入れのメニュー作り等も行い、教育関係者を招いたFAMツアー（視察旅行）なども企画する。

**(3) 助成事業**

北九州市観光振興プラン等に掲げる、観光客数の目標数値 平成31年 2,460万人（うちインバウンド26万人）を見据えて、国内向け旅行商品企画に対する助成や、海外旅行商品企画に対する助成を行い、国内外旅行者の誘客を促進する。

また、北九州市を代表する伝統的な祭事に対し補助を行い、集客力のある祭事の継続による観光客の誘致を図る。

**取組 7. 観光都市北九州の広報宣伝と観光情報の収集・調査****〈3,872千円〉**

北九州市の観光情報やイベント、コンベンション情報を掲載した機関誌「北九州観光だより」の発行や、北九州市観光情報サイト「ぐるリッチ！北九州」の運営、観光カレンダーや観光絵葉書等の観光関連書籍の発行を行う。また、ホームページやFacebookなどのアクセス解析・分析を行うなど観光客誘致のシステムづくりに向けた調査を行い、観光客のニーズに合った観光素材のPR活動を強化していく。

**取組 8. 観光に関する人材の育成及び啓発****〈3,107千円〉**

外国人観光客の増加に対応し、受け入れ体制の充実を図るため、観光業務従事者を対象におもてなし意識の向上や語学等のコミュニケーション能力のスキルアップを目的としたセミナーを実施するなど、観光マインド育成事業を行う。

また、観光ボランティア制度の運営や北九州観光市民大学を開講し、観光マインドの醸成を推進する。

**取組 9. 観光に関する施設の管理・運営****〈129,343千円〉**

公益目的事業では、北九州市、JR九州、西鉄バス北九州、北九州エアターミナルと当協会が組織した「北九州市観光案内所運営協議会」を中心に、官民一体となって観光案内所のサービス強化を図る。

また、新たな観光施設の管理・運営について検討する。

収益事業では、門司港レトロ地区で運営する売店「北九州おみやげ館」において、新商品や話題の商品等を考慮した品ぞろえを行い、売上の増加を目指すほか、門司港レトロ駐車場及び周辺施設の安定的な事業運営に努める。

また、JR小倉駅3階のJAM広場及びJAMビジョンについては、JAM広場の管理運営方法を平成30年度から一部変更し、にぎわいの創出につながるイベントの実施や、新たな顧客開拓につながる営業活動を行うことで収益増を目指す。

**取組 10. 特産品の紹介・宣伝****〈20,145千円〉**

特産品紹介パンフレットを作成し、市内各所で設置・配布を行う他、北九州市の特産品をホームページで紹介するとともに、「北九州観光市場」「楽天市場」などの通販サイトで購入できるシステムを管理運営し、販売促進に努める。

また、市内外で開催されるイベントや観光物産展のほか、MICE事業との連携を図り小倉駅新幹線口で開催される会議、大会、展示会等の会場で臨時売店を出店し、北九州市の特産品やお土産を販売していく。

